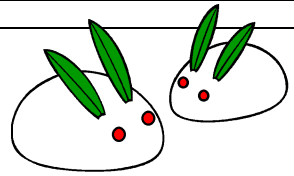


ま く よ う



～ 日々錬磨 学び合い 健やかに～

菊陽中学校だより No 3 2
令和 3 年 1 月 1 5 日 (金) 発行

後期後半スタートの様子をお知らせします。

【第 1 学年】～テストにも慣れてきました。～

・学校 HP でもお知らせしましたが、テストにも慣れ落ちて臨む姿は印象的です。通常の授業態度もしっかり集中して取り組んでいます。ただ、授業態度とテスト結果は別問題です。何人かの生徒からは、「内容が難しくなり、もう少し真剣に取り組まないとまずいです」や「勉強のやり方を変えてみます。なかなか点数が伸びません」などの意見も聞かれました。

【第 2 学年】～次代を担う 2 年生の声です～

・生徒会執行部や常任委員長及び副委員長も決まり、2 年生が学校の要として動き始めました。執行部は冬休み中に「リーダー研修会」を開催し各自の意識も高まっています。委員長の一人は「これまで先輩方が築いてこられた菊陽中の伝統をしっかり守っていきます。2 年生全員で力を合わせて、新しい菊陽中の創造にも頑張っていきたい」と意気込みを語ってくれました。

【第 3 学年】～面接の練習が続いています～

・今週から面接の練習を始め、校長室でも、毎日グループを決めて練習を行いました。初日に行った生徒の感想です。「練習はしてしましたが、言葉に詰まってしまうことがありました」や「先生方に指導していただいたことを家に帰ってやってみます。当日は思い切って臨みます」等の意見が聞かれました。誰でも緊張します。最後まで学校あげて応援していきます。

高校入試が始まりました。いよいよ…です

本日から荒尾玉名地区私立高校の入学試験を皮切りに高校入試がスタートしました。学力テストに加え、面接を実施する学校も多く準備も大変だったと思います。これまでの努力の成果が発揮できることを祈っています。特に面接は、十分な時間もとれずに本番を迎えますが、落ち着いて臨んでほしいものです。今週は、ほぼ毎日校長室で面接の練習を重ねてきました。生徒には、自信を持って、明るくハキハキとした態度で臨むことを指導しています。また、伝えたい内容は文章にして頭の中で整理しておくことの大切さも伝えました。緊張しない人はいません。入室前に大きく一つ深呼吸して臨んで下さい。最後まで応援しています！



次期常任委員長・副委員長決定！

【代議員】	(長) 松野 濤・(副) 山下 優太郎
【人権】	(長) 高木 春花・(副) 川崎 優梨愛
【体育】	(長) 佐藤 加奈子・(副) 猪俣 倭
【生活】	(長) 今井 沙樹・(副) 山下 くるみ
【奉仕】	(長) 中園 陽翔・(副) 後藤 希佳
【放送】	(長) 石橋 空濤・(副) 田中 優大
【美化】	(長) 大山 莉乃・(副) 古庄 仁湖
【図書】	(長) 内田 結亜・(副) 高田 美天
【学芸】	(長) 城 結俐菜・(副) 森 紗也奈
【保健】	(長) 荒木 優志・(副) 中俣 愛里
【栽培】	(長) 田中 慎之助・(副) 飯田 くるみ
【安全】	(長) 村上 実愛・(副) 吉川 琉希
【給食】	(長) 鍋島 千慧・(副) 鳥栖 悠希
【情報】	(長) 藏原 大佑・(副) 坂本 大翔

1 年間よろしくお願いします！

【編集後記】～「迷ったら勇気のいる方(ほう)へ」(「私の折々の言葉のコンテスト」)～

▼去年も書いた。同じ言葉でも使う場所や状況によっては全く違うものになる。例えば、「がんばれ」。懸命に頑張っているのにつけられる「がんばれ」は何か人ごとであり、突き放された冷たい感じがする。これ以上何を頑張れと言うのか…。そうかと思えば、やさしく抱きしめられ、そっとかけられる「がんばって」ではずいぶんとイメージが違う。▼今年も、中高生から集めた「私の折々のことばコンテスト 2020」に心動かされる言葉を見つけた。まずは、「靴の脱ぎ方であるあなたがわかる」前田美緒さん(中3)。学校でつらいことがあった時、母に言われた言葉である。ご機嫌な日もそうでない日も靴の脱ぎ方で母は見通していたようだった。だからあえて靴を丁寧に揃えず自分なりに母に報告しているのだと言う。素敵な親子関係が手に取るようにわかる。▼松田美怜さん(中3)は「この数字の数だけ人生があるのにね」である。医療現場で働く母親がテレビが伝えた新型コロナの感染者数を見て言った言葉である。また、この日は終戦の日。並んだ数に単なる数字ではない人生を思い浮かべ平和な世界を願ったと言う。▼そして標題の「迷ったら勇気のいる方(ほう)へ」は杉浦実那子さん(高1)が選んだ母親の言葉である。部活と生徒会との両立に迷っていた時、母の一言に背中を押され気持ちが決まったと言う。これからは迷ったら勇気のいる方を選びいろいろなことに挑戦したいと結んだ。▼冒頭の「がんばれ」は受け取り方も人によって違う。また、その人が置かれている状況も日々刻々と変化している。良かれと思ってかけた言葉が実は大切な人を傷つけてはいないか…。相手の立場に寄り添える感性を持ちたい。言葉選びは難しい。人間同様言葉は生きていく。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名()